

# 宝塚市商工業振興計画

(骨子案)

令和 3 年度 (2021 年度) ～令和 7 年度 (2025 年度)

令和 2 年 (2020 年) 2 月

宝塚市

## 目 次

1. 計画の目的と期間 .....
  - (1) 計画策定の目的
  - (2) 計画期間
  - (3) 上位・関連計画との位置づけ
2. 本市の商工業に関する主な課題.....
3. 将来目標（スローガン） .....
4. 基本方向と施策の体系 .....
  - (1) 基本方向
  - (2) 施策の体系
5. 施策の方針と主な取組施策.....
6. 計画の推進に向けて .....
  - (1) 推進体制
  - (2) 計画の進捗管理
  - (3) 成果指標と目標値

# 1. 計画の目的と期間

## (1) 計画策定の目的

「宝塚市産業振興ビジョン」（以下、産業振興ビジョンという）では、「創造都市・宝塚の実現」を将来目標に位置づけ、商工業だけでなく、農業や観光、文化芸術などあらゆる分野を横断的につなぎ、本市産業の活性化を図ることをめざしています。

この「宝塚市商工業振興計画」（以下、本計画という。）では、この将来目標を達成するために、本市の商工業に関する施策の基本方向を明らかにするとともに、今後取り組む主な施策を位置づけ、計画的に進めていくことを目的として策定したものです。

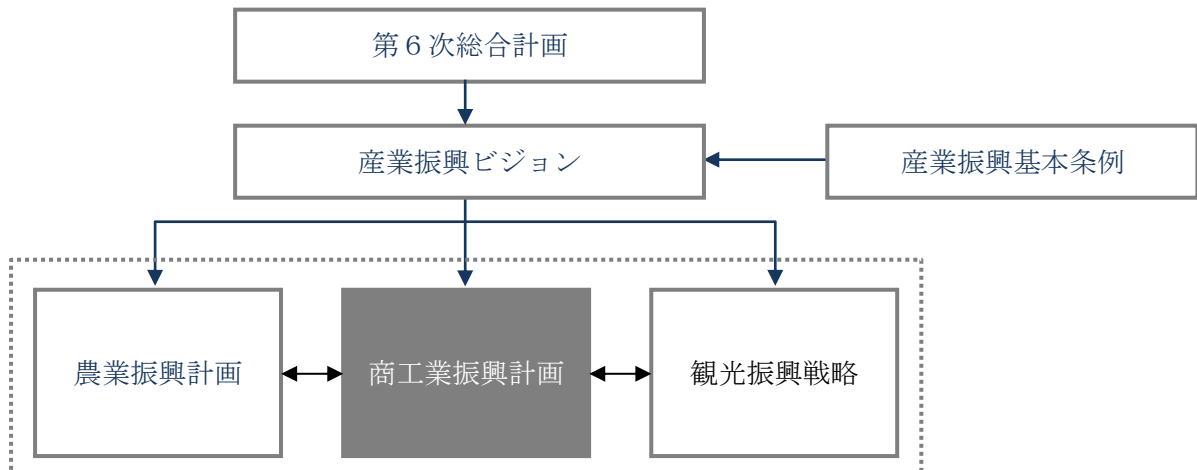
## (2) 計画期間

本計画は、令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）までの5年間を計画期間とします。

	(年度)									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
第6次 総合計画	▶									
産業振興 ビジョン	▶									
商工業 振興計画	▶									

## (3) 上位・関連計画との位置づけ

「第6次宝塚市総合計画」を上位計画、「宝塚市産業振興基本条例」に基づく「宝塚市産業振興ビジョン」を本市の産業振興に係る基本的考え方として、「宝塚市農業振興計画」及び「宝塚市観光振興戦略」と並んで、商工業振興に具体的に取り組む内容を記載した計画として位置づけられます。



## 2. 本市の商工業に関する主な課題

ここでは、本市の商工業に関する主な課題を整理します。

### 【分野共通の課題】

「宝塚市産業振興ビジョン」では、商工業に限らず、農業や観光との分野共通の課題として、「モノ」、「ヒト」、「カネ」、「情報」、「空間」の5つ視点から明らかにしました。

#### ①既存事業の収益性向上（モノ）

本市で操業する農家や商工業者、観光事業者が稼ぐ力を強化し、今後も持続的に成長していくことが大切です。

#### ②担い手や後継者の確保（ヒト）

起業・第二創業を行う経営者や、事業所で働く従業員、産業を支える消費者（ファン）を確保・育成することが求められます。

#### ③地域内経済循環の促進（カネ）

産産連携や産学官連携の促進や、民間消費の流出防止により、市内で循環する資金を増やし、稼ぐ事業者の増加につなげることが肝要です。

#### ④産業魅力の発信（情報）

本市産業の魅力のブラッシュアップに取り組み、市民や消費者（ファン）に伝えることが重要です。

#### ⑤事業環境の整備（空間）

空き地や空き店舗などの遊休地・未利用地、道路・広場などの公共空間の活用を促すとともに、土地利用に係る地域住民との調整や支援体制の構築など、事業者が円滑に事業に取り組むための環境を整備することが必要です。

### 【商工業に係る課題】

上記の分野共通の課題のほか、本市の商工業に係る今日的課題としては、次のようなことが挙げられます。

- ・ 既存製造業の市外流出防止に向けた住工混在地域の調整
- ・ 中小事業者の人材確保や生産性向上
- ・ 本市の事業環境に見合った新規事業者の立地誘導
- ・ 市内の買い物環境の向上や魅力ある店舗の充実
- ・ 市街地の文化や西谷地区の自然を活かした魅力創造
- ・ コワーキングスペースなど民間による支援を活用した創業機運の向上

など

### 3. 将来目標（スローガン）

計画策定の目的でも述べたとおり、「創造都市 宝塚」の実現に向け、本計画では以下のスローガンを掲げ、目標達成の取組を進めます。

## Make our city.

#### 《想い》 Our city

このスローガンには、行政だけの計画に止まらず、市民とともに、つくり、変えていきたいという思いが込められています。

また、この計画の推進によって達成される【結果】だけでなく、みんなで作ってあげてきたという【過程】をも大切にすることで、“私の”“あなたの”ではなく、“私たちの宝塚”と感ずることができるようになり、さらなるシビックプライドの醸成につながると考えています。

#### 《意味》 Make

本市商工業における、さまざまな<Make=つくる>から、宝塚のまちをつくりあげます。「Make」というワードには、宝塚市産業振興ビジョンでも言及されている「創造性」を駆使すること（Create）を主軸として、他に4つの意味を含んでおり、それぞれが孤立することなく、互いに影響しあっていくことを表現しています。

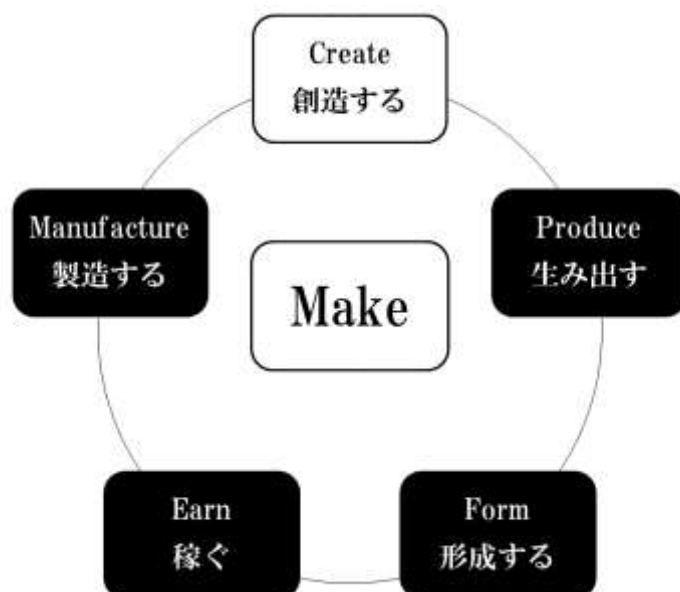
デザイン思考やクリエイティブな発想で「創造する」こと。

工業製品を「製造する」こと。

魅力あるヒトやモノ、バを「生み出す」こと。

市内の事業者が活躍できる環境を「形成する」こと。

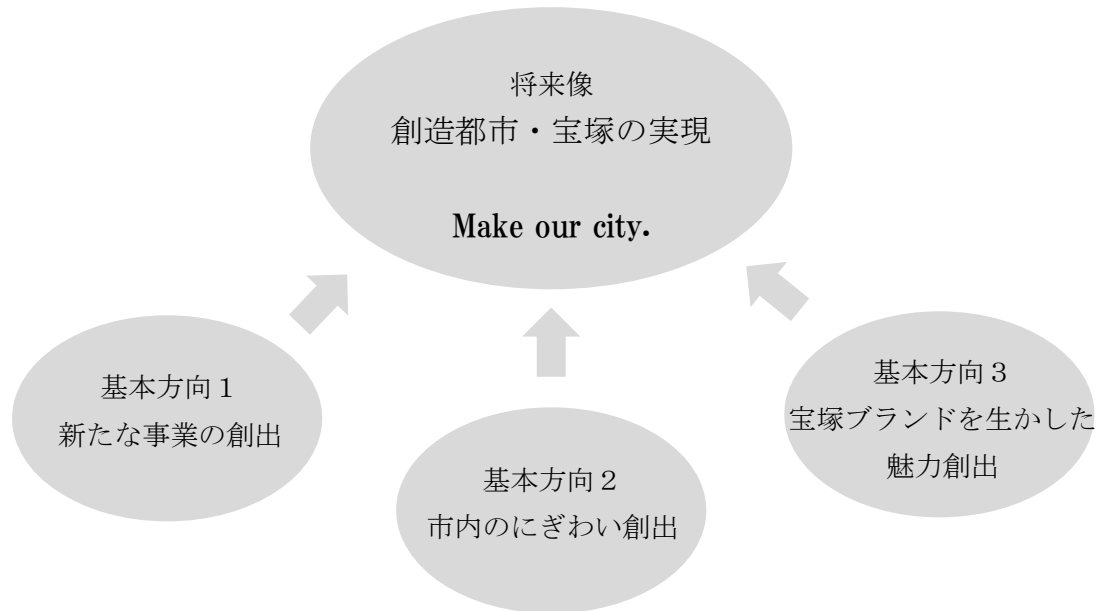
ブランド認知を「獲得する」こと。またそれを活かして「稼ぐ」こと。



## 4. 基本方向と施策の体系

### (1) 基本方向

将来目標を達成するため、商工業の分野において次の3つの基本方向を設定します。



#### 基本方向1 新たな事業の創出

市内の商工業に関わる既存事業者に対しては、関係機関との連携を行い、いまの事業の継続・発展や新たな事業展開に挑戦し、デザイン思考<sup>1</sup>による創造性を発揮できる支援体制を整えます。

また、本市の地域産業資源や文化芸術資源、ブランド力を活用して、市内で起業したい人を増やし、新しい商品・製品やサービスが次々と生み出されることを応援します。

#### 基本方向2 市内のにぎわい創出

中心市街地をはじめ、市内で人が集い、購買に結びつけられるような、魅力ある個店を増やすとともに、製造業事業者については、市内で継続して操業できる環境を整えます。

また、産学官金連携を図り、起業・第二創業を行う経営者や、事業所で働く従業員の確保・育成を支援します。

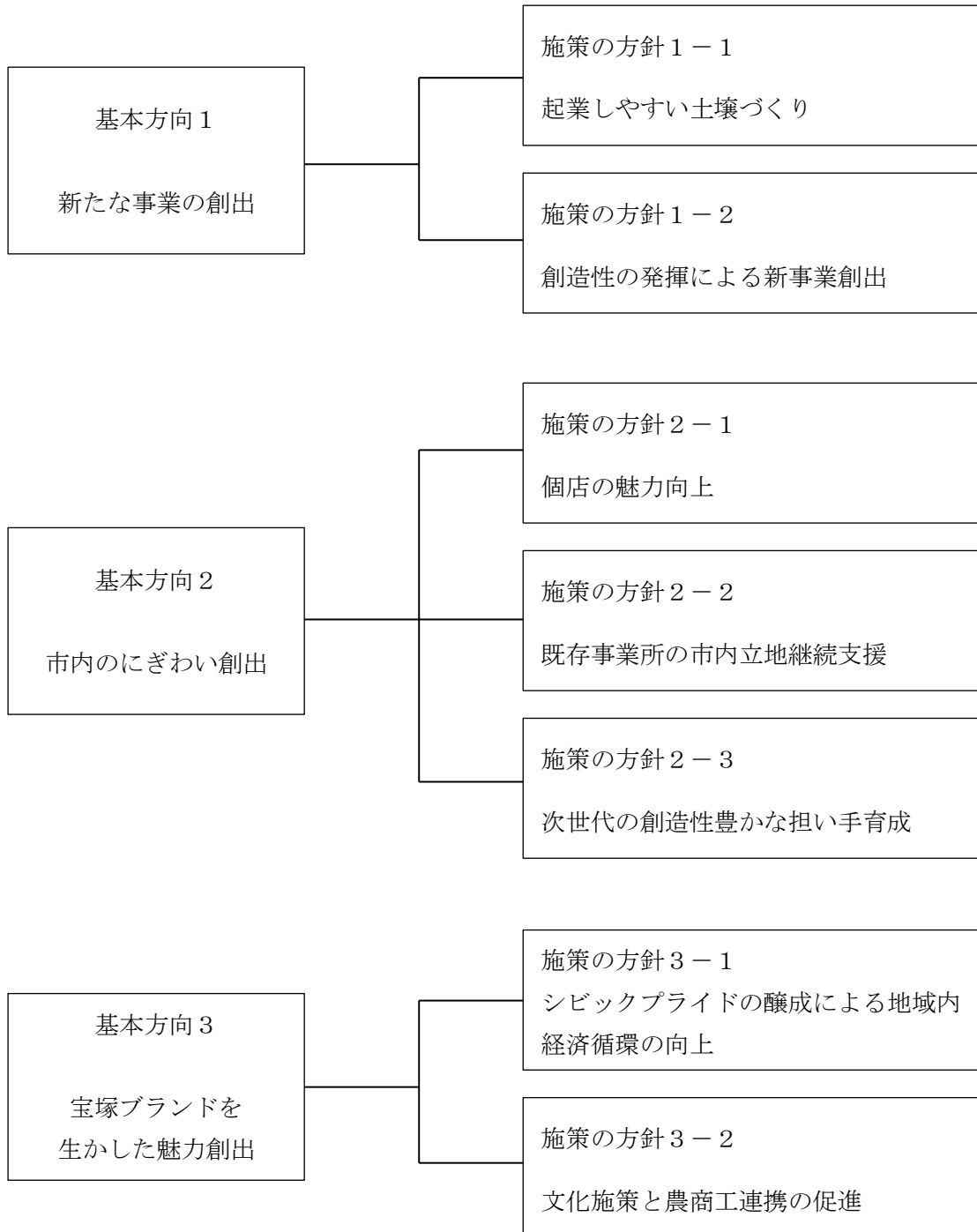
#### 基本方向3 宝塚ブランドを生かした魅力創出

宝塚ブランドを生かし、シビックプライドの醸成を通じて、地域内における経済循環を高めるとともに、文化施策と農商工連携の活発な動きを加速させることにより、本市の新たな魅力を創出します。

<sup>1</sup>デザインに必要な考え方と手法を用いて、常にユーザーの視点に立ってゼロベースの発想で、新たなサービスや製品を創出する手法

## (2) 施策の体系

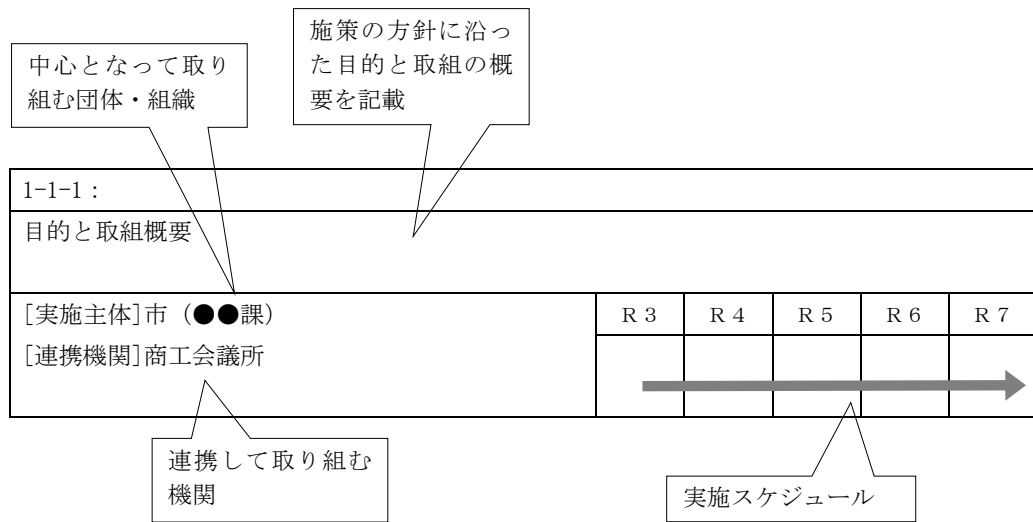
基本方向に基づき、施策の方針を次のように設定します。



## 5. 施策の方針と主な取組施策

ここでは施策の方針ごとに主な取組施策を位置づけ、下図のように統一様式で示します。

なお、ここに書かれた取組施策は、すべてを網羅するものではなく、特に新規あるいは充実・強化するものを中心に取上げています。次章で後述するように、5年間の計画期間のうち、年度ごとに評価し、適宜見直すものとします。



<略称表記について>

市：宝塚市  
 商工会議所：宝塚商工会議所  
 観光協会：宝塚市国際観光協会  
 商店連合会：宝塚市商店連合会  
 県：兵庫県

(参考) 以下の統一様式で表現

1-1-1 :					
目的と取組概要					
[実施主体]市 (●●課)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
[連携機関]商工会議所	→				



## 基本方向1 新たな事業の創出

### 施策の方針1-1 起業しやすい土壌づくり

(主な取組施策)

- ・民間事業者との連携による事業承継とスタートアップ支援の促進(新規)
- ・起業、創業を目指す人の交流拠点<sup>2</sup>の整備促進
- ・女性が活躍できる事業環境の整備促進(企業内託児所など)

(参考) 既存施策

- 中小企業振興資金融資補助金
- 起業融資活用者利子補助金
- 起業家等支援施設補助金
- 起業家等支援施設認定制度
- 女性向け就労セミナー
- シルバーフェア
- 創業セミナー(兵庫県補助金/地域活力増進事業)
- ワンストップ相談窓口

(注)  印: 市予算説明資料(2019年度)  印: 商工会議所事業計画書(2019年度)

### 施策の方針1-2 創造性の発揮による新事業創出

(主な取組施策)

- ・公共空間・施設を活用したマーケティングやプロモーション環境の提供(新規)
- ・異業種や高度デザイン人材<sup>3</sup>等とのマッチング支援
- ・IoT等先端技術の活用による生産性の向上支援(新規)

(参考) 既存施策

- 起業家等支援施設認定制度(再掲)
- ビジネスプランコンテスト
- 経営支援における専門家の利用促進
- 経営支援における各種統計・データの積極活用
- 資質向上対策
- 阪神間4商工会議所大交流会

(注)  印: 市予算説明資料(2019年度)  印: 商工会議所事業計画書(2019年度)

<sup>2</sup> 2019年12月現在、3施設

<sup>3</sup> 「多様なデザイン専門性能力」に加えて、「ビジネススキル」と「リーダーシップ」を備えた人材

## 基本方向 2 市内のにぎわい創出

### 施策の方針 2-1 個店の魅力向上

(主な取組施策)

- ・リノベーションや美装化等による個店魅力化の支援
- ・「モノ・コト・バ宝塚」による対外的発信の充実
- ・魅力ある新たな個店の立地誘導

(参考) 既存施策

- 商工業振興事業補助金 (小規模事業者経営改善支援事業等補助金)
- 商業活性化推進事業補助金
- 商店街空き店舗活用事業補助金
- 空き店舗等出店促進補助金
- 店舗外装整備補助金
- 「モノ・コト・バ宝塚」選定資源を生かした対外的な発信
- キャッシュレス決済・POS レジ導入・クラウド会計導入促進等

(注) 印：市予算説明資料 (2019 年度)    印：商工会議所事業計画書 (2019 年度)

### 施策の方針 2-2 既存事業所の市内立地継続支援

(主な取組施策)

- ・事業者訪問による顔の見える関係づくり
- ・既存事業所の事業展開に対する支援
- ・住工混在地域における多様な地域貢献の参画機会の提供

(参考) 既存施策

- 企業活動支援事業補助金
- 商工業共同施設補助金
- 市場評価ソフトウェアの活用
- 生産性向上の促進 (ものづくり補助金、持続化補助金、IT 補助金等の活用)
- BCP 策定支援

(注) 印：市予算説明資料 (2019 年度)    印：商工会議所事業計画書 (2019 年度)

## 施策の方針 2 - 3 次世代の創造性豊かな担い手育成

(主な取組施策)

- ・市内事業者、市内外の大学、金融機関及び行政との産学官金連携の強化（新規）
- ・学校教育と連携したキャリア教育の推進（新規）
- ・高度デザイン人材の育成推進

(参考) 既存施策

- トライやる・ウィーク推進事業
- 事業承継ネットワーク
- 兵庫事業引継ぎ支援センターとの連携強化・利用促進
- 働き方改革・健康経営の推進
- 外国人雇用管理指針の周知
- 商工優秀・優良従業員表彰
- 労働保険事務組合を通じた労働保険加入促進

(注)  印：市予算説明資料（2019年度）

印：商工会議所事業計画書（2019年度）

### 基本方向3 宝塚ブランドを生かした魅力創出

#### 施策の方針3-1 シビックプライドの醸成による地域内経済循環の向上

##### (主な取組施策)

- ・市内事業者の創造的商品・サービスに係る受注機会の確保（新規）
- ・「モノ・コト・バ宝塚」やふるさと納税等を活用したシティプロモーションの強化
- ・市内事業者同士の主体的な連携・交流に関する情報発信

##### (参考) 既存施策

- 宝塚ブランド発信事業
- シティプロモーション推進事業（ふるさと納税の充実）
- 「宝塚 花の里・西谷」ブランド協議会の支援

(注) 印：市予算説明資料（2019年度）

印：商工会議所事業計画書（2019年度）

#### 施策の方針3-2 文化施策と農商工連携の促進

##### (主な取組施策)

- ・宝塚市立文化芸術センターを核とした横断的な取り組みの促進（新規）
- ・地元飲食店と農家との取引連携の促進
- ・宝塚ならではの物語性を取り入れた新商品・新サービス開発の促進（新規）

##### (参考) 既存施策

- 阪神間4商工会議所大交流会
- 宝塚から新しい「食」の提案（兵庫県補助金/異業種交流活性化支援事業）
- 「酒粕」「くすのき」をつかった新商品開発（兵庫県補助金/同上）

(注) 印：市予算説明資料（2019年度）

印：商工会議所事業計画書（2019年度）

## 6. 計画の推進に向けて

### (1) 推進体制の強化

本計画の推進にあたっては、庁内関係課の連携を図るとともに、宝塚商工会議所、兵庫県、国、民間事業者、金融機関、大学等と協力・連携して推進体制を強化していきます。また、経営や法律の専門家等とも連携し、きめ細かな推進体制を構築します。

協力・連携を進めるにあたっては、市商工勤労課及び商工会議所の両者が「ワンストップ窓口」の機能を担い、日常から各機関の担当者と情報を交換し、事業者や市民のあらゆる相談に対して関係機関を紹介しやすい関係性を構築します。

さらに、近隣構成市町の産業部局や商工会議所・商工会等と連携を図り、事業者の活動の広がりに対応した支援を行います。

### (2) 計画の進捗管理

主な取組施策の進捗状況を年度毎に把握して、PDCA（Plan／Do／Check／Action）による計画の検証と強化、改善に取り組み、事業者等のニーズに合った施策を推進します。

計画の評価検証の場としては、行政内部だけでなく、事業者、関係機関、学識経験者等が集まる場を設定し、多様な視点から施策の充実または改善を図ります。

計画期間最終年度の令和7年度（2025年度）には、次の5年間の計画策定に取り組みます。

### (3) 成果指標と目標値

本計画では、「第6次宝塚市総合計画」に合わせて評価の指標と目標値を設定します。

指標名	単位	現状値 (R1)	目標値 (R7)	指標 方向